

JILPT 資料シリーズ

No.212 2019年3月

高齢者の多様な活躍に関する取組Ⅱ

—地方自治体等の事例—



資料シリーズ No. 212

2019年3月

高齢者の多様な活躍に関する取組 II

—地方自治体等の事例—

独立行政法人 労働政策研究・研修機構
The Japan Institute for Labour Policy and Training

まえがき

わが国は、健康寿命が世界一の長寿社会を迎えており、こうした人生 100 年時代を見据え、働く意欲のある高齢者が年齢にかかわらず活躍し続けることができる生涯現役社会を構築することが求められている。

高齢者雇用については、これまでの高年齢者雇用安定法の改正によって、企業内での 65 歳までの雇用確保の仕組みが整備されてきた中で、今後は、特に 65 歳以上の高齢者について、多様な形態で雇用・就業機会を確保していくことが重要な課題である。

また、健康寿命の延伸に伴い、経済的な理由から働くことを希望する高齢者や、地域でのボランティア的な就労を希望する高齢者など、高齢者の働き方に対するニーズが多様化する中で、こうした高齢者のニーズの変化に対応していく視点を持つことも重要となっている。

こうした中で、近年、地方自治体等を中心として地域における高齢者の多様な活躍を支援する取組が開始されてきているところである。このような取組が各地域に普及し、着実に浸透していくことは、生涯現役社会の実現という観点から、大きな意義を有するものである。

独立行政法人労働政策研究・研修機構では、このような問題意識から、厚生労働省の協力も得つつ、地方自治体等の取組の中から好事例を収集し、これから新たな取組を進めようとする地方自治体にも役立つよう、事例集として本資料シリーズを取りまとめた。お忙しい中、ヒアリング等にご協力いただいた方々には感謝申し上げます。

本書が地方自治体等の方々に活用され、地域における高齢者の活躍が進み、生涯現役社会の実現に資することができれば幸いである。

2019 年 3 月

独立行政法人 労働政策研究・研修機構
理事長 樋口 美雄

執筆担当者（執筆順）

大隈 俊弥	労働政策研究・研修機構	統括研究員	第1章
李 青雅	労働政策研究・研修機構	アシスタントフェロー	第2章～第4章 第6章、第7章
山岸 諒己	労働政策研究・研修機構	アシスタントフェロー	第5章、第8章
中山 明広	労働政策研究・研修機構	統括研究員	第9章

目 次

第 1 章 高齢者の就労を中心とした多様な取組	1
第 1 節 調査研究の背景、目的及び方法	1
第 2 節 各自治体等における取組の特色	6
第 2 章 山形市(山形県)の事例	11
第 1 節 地域のすがた	11
第 2 節 生涯現役促進地域連携事業の概要	12
第 3 節 まとめ	16
第 3 章 袋井市(静岡県)の事例	17
第 1 節 地域のすがた	17
第 2 節 生涯現役促進地域連携事業の概要	19
第 3 節 まとめ	26
第 4 章 米子市(鳥取県)の事例	27
第 1 節 地域のすがた	27
第 2 節 生涯現役促進地域連携事業の概要	29
第 3 節 まとめ	36
第 5 章 山梨県の事例	37
第 1 節 地域のすがた	37
第 2 節 生涯現役促進地域連携事業の概要	39
第 3 節 まとめ	43
第 6 章 愛知県の事例	45
第 1 節 地域のすがた	45
第 2 節 生涯現役促進地域連携事業の概要	47
第 3 節 まとめ	54
第 7 章 富山県の事例	56
第 1 節 地域のすがた	56
第 2 節 生涯現役促進地域連携事業の概要	58
第 3 節 まとめ	62

第 8 章 徳島県の事例	63
第 1 節 地域のすがた	63
第 2 節 生涯現役促進地域連携事業の概要	65
第 3 節 まとめ	70
第 9 章 地方自治体における高齢者の就労支援の取組	71
第 1 節 各自治体の取組	71
第 2 節 高齢者就労のこれから（中長期的に見た高齢者の就労）	78
参考資料	83